

周恩来なき

中国問とその将来

<上>

東京外国語大助教授 中 嶋 嶺 雄

中国国内の政治情勢はこのところ急速に流動化し、いわゆる走資派批判がわきまがたつてきた。いったい中国はどうなるのか。毛沢東健在の今日でさえもこのような状況だから、これから中国はもう一つ大きな変化を迎えなければならぬ。ポスト周恩來の「本命」とみられていた鄧小平副首相批判は、現在の情勢は、在外公館の人たちでさえも十分かみきれず、戸惑っているようだ。私ももちろ

が文革派の人たちの攻撃材料のようになってくるのだが……。軍全体は鄧氏の富強強兵路線を支持している。また生産の現場などでも農村の一部モデル地区を除いて鄧氏の経済中心主義、工業開発重視の政策の方がより受け入れやすいのではないかと思う。

ところで今日の中国がおかれている意味での社会的矛盾を色濃く反映した事件に昨年夏浙江省杭州で起きた労働者の賃上げ要求のストライキがあった。それがいま文革派の人たちによつてきびしく批判されている。鄧小平氏にしてみれば今後中国が歩む道は毛沢東思想をうんぬんするよりも社会をより近代化し、経済力を強化しなければならぬという一種の合理的主義に徹し、実践してきた。そ

鄧氏の地位不動か

軍部などはいぜん支持



なかしま・みねお 昭和三十五年東京外国語大中国科卒、四十年東京大大学院國際関係論課程修了。四十二年東京大講師を経て四十四年同助教授。四十四年から四十六年にかけて外務省特別研究員として香港に留学。四十一年秋、文化大革命の激動期に訪中したほか昨年はいず、モンゴル、中国を視察した。現在外交政策懇談会委員、「國際環境」に関する海外学術調査プロジェクト団長。著書は「中国をみつめて」、「現代中国論」など多数。出身、長野県松本市出身。現在所は東京都板橋区常盤台一ノ二八〇三。

手て現時点まで総括したに等しいものであった。ただ、文革派の人たちは心中おたやかでない。なつた。そして毛主席が死したならばやはり鄧氏が弔辞を述べたのではないかと運想した。このあたりに弊害が終わる。それから鄧氏への批判運動が急速にはじまったことへのナゾを解くカギがあるような気がする。

た。このストライキは軍によつて抑えられたが、いまの中国の人たちの生活状態は衣食に関してはまよやく満ちたり、品物も以前に比べればかなり豊富になった。金を出せば都市では物が買える時代になった。ところが賃金は非常に低く、都市の労働者で六十、七十元、農業従事者で三十、四十元、平均六十元(これも日本円に換算すればわずか九千円ぐらいの賃金だ。たしかに生活必需品は安いのだが、ちよつとした準必需品、例

てプロレタリア理論学習運動が盛んに繰り広げられている。発展する中国社会の矛盾である。おそらく周恩来首相や鄧副首相はそういう中国についてかなりリアルに意識している人物である。だから周恩来首相は昨年一月の人民代表大会で「中国を近代的な強國にしなければならぬ。そのためには第一次五カ年計画を一九八〇年までに順調に推進することである」と訴えた。その方針を病身の周氏に代わつて鄧小平氏が受け継いでき

る。それがいま文革派の人たちによつてきびしく批判されている。鄧小平氏にしてみれば今後中国が歩む道は毛沢東思想をうんぬんするよりも社会をより近代化し、経済力を強化しなければならぬという一種の合理的主義に徹し、実践してきた。そんななか、いま批判が起きているから、いま批判が起きている以外のところでは走資派(走

周恩来

中国とその将来

<下>

東京外国語大助教授 中嶋嶺雄

根深い走資派批判

江青女史の行動に注目

政策論争なら党中央委員会などやればよいのだが、中国ではどうも政治のシステムがなくなっているのだから、人間臭い権力闘争の色彩が強い。とくに毛沢東夫人の江青女史のかけがえにちろついているのが気になる。

しかし、客観的にみた場合、中国の社会的国家的要請としては批判の対象にされている鄧小平氏などのいわゆる走資派の政策の方が善美なように思える。

承る文革派の「あせり」がわかるような気がする。しかも国際環境をみても中国は一九七〇

関係が改善される可能性はまったくないし、当面という方向は維持せざるをえない。

中国はとらえがたいと述べたが、もう少し話をしほつて走資派批判の背景をふりかえつてみる。

中国の北平大使館から送られてきた確実な情報だが、一月十五日に周恩来首相の葬儀があった。鄧小平氏から送られた花が前日の献花が十九日になると全部片づけられたという。もう一つ

鄧小平氏が行っている政策は周恩来なき周恩来路線なので、そのことを進めていけば周恩来批判になるのではないかと。一部の隠新聞でそんな批判が出ているというところになればますますそう考えざるをえない。

日本の北平大使館から送られてきた確実な情報だが、一月十五日に周恩来首相の葬儀があった。鄧小平氏から送られた花が前日の献花が十九日になると全部片づけられたという。もう一つ

年代前半に米中接近、日中国交

策を批判する一方で米国の密接な関係を望んでいるような気が

する。ウオーターゲート事件部には周恩来首相が批判されて

いる懸念があり、他方では江青女史を批判した懸念がある

の。これはいまの中国の権力闘争を如実に反映している

と。このことが鄧氏の潜在的な「強さ」になっているのではな

いだろうか。鄧氏は批判の嵐に

じつとたえていればやがて時は

利するようになる。まして毛沢東なきこの中国を考えると

ともっと有利になるのではないかと。いま毛沢東なきこの中国を考えるとともっと有利になるのではないかと。いま

ねばずいまま走資派をたたかねばずいままと周恩来

正主義、資本主義復活だといつてみたところで、近代化を

も積極的に二カソソをもてなしている。なぜかといふと

とこんな関係にあったのか。よく考えてみるに走資派批判は

恩来路線に対する批判である。に、かぎり、があつたつた

は。中国では受け入れられる余地

なナソソの二つである。

私には周恩来が確かに病氣であつたことは事実だが、昨年一月の

全国人民代表大会を彼の政治的遺言の場として、活動そのもの

に、かぎり、があつたつた

に。このことが鄧氏の潜在的な「強さ」になっているのではな

いだろうか。鄧氏は批判の嵐に

じつとたえていればやがて時は

利するようになる。まして毛沢東なきこの中国を考えると

ともっと有利になるのではないかと。いま毛沢東なきこの中国を考えるとともっと有利になるのではないかと。いま

ねばずいまま走資派をたたかねばずいままと周恩来

正主義、資本主義復活だといつてみたところで、近代化を

も積極的に二カソソをもてなしている。なぜかといふと

とこんな関係にあったのか。よく考えてみるに走資派批判は

恩来路線に対する批判である。に、かぎり、があつたつた

は。中国では受け入れられる余地

なナソソの二つである。

私には周恩来が確かに病氣であつたことは事実だが、昨年一月の

全国人民代表大会を彼の政治的遺言の場として、活動そのもの

に、かぎり、があつたつた